

冬休みも勉強かい？

そうだよ 頑張った分だけ返ってくるから

冬休みの勉強会

12月24日・25日スタートします。

中学3年生は24日、中学1・2年生は25日から

クラスコース (中学生)

中3 5科目・テスト・解説・演習・Q&A

60分×4+50分×2 11日間

中1・2 5科目・小テスト・演習・解説・Q&A

50分×3コマ 9日間

学年	学習日	学習時間	科目	講座費(税込み)	テスト費・教材費	合計
中1生 中2生	12月(24)・25・26・ 27・28・29・ (30)	19:00~21:50	国語 数学 英語	20,520円	2,700円 2,160円	25,380円
中3生	1月 4・5・6・7 ※24日・30日は中3のみ	9:00~16:00	社会 理科	35,640円	2,700円 4,750円	43,090円

個別指導コース (中学生)

生徒2人に先生1人 苦手を克服!

学年	日数・時間	指導科目	講座費(税込み)	テスト費・教材費	合計
中1生 中2生	8日 50分×2コマ	2科目選択	21,260円	2,700円 1,510円	25,470円
中3生	8日 50分×3コマ	3科目選択 (5科目可)	32,600円	2,700円 3,240円	38,540円

※日数には、テスト日が含まれます。

指導時間帯【A・B・C・Dから選択】

A	B	C	D
10:00~11:45	16:00~17:45	18:00~19:45	20:00~21:45

※中学3年生（個別指導）は、指導時間の1時間目は演習を行います。『県下統一模試』 中1・2年生は1/6・7、中3年生は1/7に実施します。

お申し込み：12月22日（木）まで。 個別指導コースは21日まで。 14時～19時

☎ 国分教育ゼミナール TEL 46-1266 ☎ 隼人教育ゼミナール TEL 42-2822

「自分の一番を」を
めざして



国分教育ゼミナール

KOKUBU EDUCATION SEMINAR

- 国分校 霧島市国分清水 1-22-52 ☎46-1266
- 横川校 霧島市横川町中ノ 990-1 ☎72-9187
- 隼人教育ゼミナール 霧島市隼人町内山田 1-8-15 ☎42-2822



隼人教育ゼミナール

HAYATO EDUCATION SEMINAR



2016 年冬期特別号 ゼミナール通信 “鳥瞰するが如く”

『合同一日特訓』『苦手分野の克服』

10月22日（土）、当塾恒例の「合同一日特訓」を行いました。

今年は隼人校を会場として、国分校、横川校、隼人校の中学3年生全員で勉強に励みました。

9：00～17：00までを7コマに分け、教科は数学と英語。事前アンケートを元に作成した、ひとり一人のレベルに合わせた難易度別のプリント学習。そしてひとり一人の質問に丁寧に説明する個別指導で、理解も深まったのではないでしょう

うか。隣に他校の生徒が座っていても、同じ時間を共有し、同じ目的に向かって目の前の問題に集中する背中には緊張感があり、黙々と問題に取り組む横顔は受験生の顔をしていました。

私立入試まで約2ヶ月、公立入試まで約3ヶ月。

苦手克服は一日にして為らず。焦らず、じっくり、毎日、少しずつでも克服していけば、必ず志望校合格を達成できます。頑張ろう！



“自分の一番賞”おめでとう！

入塾時と1・2学期(11月現在)の成績を比較して、飛躍的に“自分の一番”を更新した例です。

生徒(中学)名	入塾時の学年順位	自分の一番
Aくん(日当山)	4位	1位
Bさん(国分)	24位	9位
Cさん(国分)	30位	17位
Dくん(隼人)	45位	22位
Eさん(日当山)	37位	18位
Fさん(隼人)	92位	31位
Gくん(隼人)	84位	38位
Hさん(国分)	69位	35位
Iさん(隼人)	130位	68位
Jさん(隼人)	100位	57位
Kくん(国分)	117位	61位
Lさん(隼人)	157位	72位
Mさん(国分)	111位	74位

その他、多数が“自分の一番”を更新中です。

統一模試の伸び Best13

中学3年生の10月と11月の成績の比較です。コツコツとやってきた小テストの成果が見えてきました！

生徒(中学)名	10月模試	11月模試	伸び
Aさん(国分)	242点	313点	+71点
Bさん(隼人)	223点	274点	+51点
Cさん(国分)	234点	280点	+46点
Dくん(日当山)	370点	415点	+45点
Eくん(隼人)	339点	384点	+45点
Fさん(隼人)	211点	255点	+44点
Gさん(国分)	202点	242点	+40点
Hさん(隼人)	283点	311点	+28点
Iくん(隼人)	363点	388点	+25点
Jさん(隼人)	332点	354点	+22点
Kさん(隼人)	338点	360点	+22点
Lさん(横川)	316点	336点	+20点
Mくん(牧園)	314点	332点	+18点

その他、多数が伸びています。

第2回 英語検定(10/8実施)結果 小学6年生～中学3年生希望者16名			
	3級	4級	5級
合格者	4名	3名	5名
受験者	7名	4名	5名

※国分教育ゼミナール・隼人教育ゼミナールは、英検・漢検の準会場に登録・認定されています。

第1回・2回漢字検定結果 小学3年生～中学2年生(中3は希望者)			
	合格者/受験者		合格者/受験者
準2級	1/1	3級	0/3
4級	9/16	5級	12/18
6級	10/13	7級	6/7
8級	4/8	9級	1/1

チャレンジクエスト(小学生)

今年度から小学生を対象として『チャレンジクエスト』を始めました。月ごとに目標を決めて、クエストをクリアしていきます。ゲーム感覚で小学生たちが楽しみながら取り組めるようにしています。

5月のチャレンジクエストは『都道府県を覚えよう』でした。小学3年生のIくん、4年生のMくん、5年生のTくんが47都道府県をクリアしました。

9月のチャレンジクエストは『世界の国々を覚えよう』でした。38ヶ国の国名と位置を覚えるテストです。20ヶ国以上の国名を答えることができた小学生が3人もいました。最初はほとんどの国名を「聞いたことがないよ～」と言っていましたが、よくぞ1ヶ月で難しい国名も覚えられましたね。クエストの結果を返すときに「頑張ったね!すごいね!」とハイタッチをすると、ニコニコしながら手を叩いてくれました。お母さんのお迎えのときも車のドアを開けた瞬間に「この前のテストね、満点だったよ!」と、結果を報告していました。本当に嬉しそうでした。

現在は、11・12月のクエスト『都道府県庁所在地を覚えよう』のクリアを目指して頑張っています。



第3回親子座(教育講演会)

“子供たちのやる気を喚起したい”
“「今」という時の大切さや「生きる力」を感じてもらいたい”



11月26日(土)に第3回目となる親子座を開催しました。今回も昨年同様に国分いきいき交流センターにて国分校・横川校・隼人校合同で、多くの保護者の方々と生徒たち並びに外部生にお集まりいただきました。

今回は二人の講師の先生をお招きしました。まずは昨年もお講演頂いた池田学園理事長・校長の池田由実先生。池田学園は塾が創った初めての学校として全国的に有名な学園です。そして、岩手大学名誉教授の八木一正先生。八木先生は物理教育のスペシャリストで、「日テレ;世界一受けたい授業」や「NHK;爆問学問」など、TV出演もされています。

まず池田先生からは、希望する職種になかなか就けない厳しい今の時代、“リベラルアーツ(職業や専門に直接結びつかない教養)”と“グローバル化(国際化)”という教育的キーワードの重要性をお話いただきました。例えば急激に伸びている再生医療市場のように少し前では考えられない職業が増えてきたり、逆にオートメーション化されていくであろう仕事があったり、これからどんな時代になるか分からない。『様々な時代に対応できる総合力こそが豊かな人生を送ることにつながる。』それは子供たちだけでなくわれわれ大人たちも挑戦していくことの必要性を考えるきっかけになったと思います。

そして、池田先生の同級生の多くが20年前に思い描いた夢を今実現しているというお話もありました。“人生に夢があるのではなく、夢が人生をつくるのだ”という先生の最後の言葉がとても心に響きました。

そして八木先生からは、「世界一美しい種子のダンスショーと子育てを語るタベ」と題し、実験ショーを交えたお話をして頂きました。注視しないと誰も気づかない程地味な種子の乱舞。その自然現象に色・光・時間・風などを上手く使って“料理”し観察すると、全く見たことのない美しい世界が広がっている。子育ても同様で、上手く“料理”することで、とてつもなくすごい子になる。それにはいろいろな体験をさせることが大事。新鮮な感動こそが活動源になるとのこと。ストロボスコープなどの実験器具を使って、色を付けた種子の飛翔や、飛行機が飛ぶのはなぜかと、生徒に疑問をぶつけ、その答えを目の前で実験させてくれました。

八木先生のあの手この手の工夫した実験こそが、先生のおっしゃられる『新鮮な感動』であり、それが『魂の栄養』となり生きる上での活力となるのでしょう。もちろん科学だけでなく、いろいろなことに興味関心をもって心を動かすことが大事なのだと思います。

今回の親子座を終えて、生徒たちと保護者の方々がそれぞれ感じたことを語り合い、今後の学習や生活、進路の参考にしていいただければ幸いです。

改めましてお忙しい中、この親子座に足をお運び頂きました皆様に深く御礼申し上げます。

『座・閑話』

Happy Wedding!

11月吉日、3月まで勤めて頂いた福元先生の結婚式に参列してきました。とてもチャームングできれいな花嫁さんと誠実で優しい花婿さんの厳かで感動的で幸せいっぱいの結婚式でした。卒業生と在塾生から寄せられた祝福のメッセージと写真、そして彼女の3年間の思い出を一冊のアルバムにして届けて来ました。あの満面の笑みで「とても嬉しいです、皆さんに宜しくお伝えください」とのことでした。幸せの報告を皆さんへ。



修行が足りぬ

講演会の時、講師の先生に「尊敬する先生のお一人」と褒められて、不覚にも赤面している自分に気付いた。社交辞令なのは分かっているものの、この年齢でお褒めの言葉を頂くと、嬉しいというより気恥ずかしい方が先になってしまう。

講演が終わり、お礼の言葉を述べるのに、そのことについて少しだけ謙遜のコメントをした自分に、又思い出しては赤面しているのである。「ああ恥ずかしい!」さて、そんな時は、どう対応すべきか考えてみた。

「褒めて頂きありがとうございますございました。私が褒められて伸びるタイプだとご存知のようですね。人は褒められるとやる気がでて能力が伸びます。でもこの年齢だと何が伸びるのでしょうか?そうですね、寿命がのびるんですね。」ってね。でも最善策は、何もコメントしない、ということでしょうか。